

広報もがみは、町の今を記録し、未来へつなぐタイムカプセル

# あの日のもがみへ

— 広報でたどる、まちの歩み —

「あの日のもがみへ」では、過去の広報紙をひもときながら、その時代に起きた出来事や人々の思いを振り返ります。何気ない日常の一場面も、時を経ることではかけがえない記録となり、私たちに多くの気づきを与えてくれます。あの日のもがみに触れながら、これからの町の姿にも思いを重ねてみませんか。



シリーズ2  
5月号から  
シリーズでお届け  
しています



昭和  
47年  
6月号

## 赤痢菌に町民87人が感染

### 昭和47年、町を包んだ感染への不安

覚えていますか。昭和47年6月、当時の広報もがみには、町内で発生した「集団赤痢」について大きく掲載されていました。感染のきっかけとなったのは、大堀児童館で確認された23人の感染。当時の児童館は、現在の学童保育のように、放課後に子どもたちが集団で過ごす場所でした。その後、感染した児童の家族にも検査が行われ、町内の感染状況が少しずつ明らかになっていきます。最終的に確認された感染者は87人。まだ衛生環境が今ほど整っていなかった時代、山から引いた水や流れ水で野菜を洗い、夏になれば家の中にはハエが飛び交っていました。記事の中でも、そうした生活環境や感染の原因に触れながら、感染拡大への注意が呼びかけられています。

当時の広報紙には、「手洗いの徹底」や「食品衛生への注意」、「早期診断と治療」など、感染予防への呼びかけが並びます。現在60代から80代となった方々の中には、当時、小学生として、あるいは子育てをする親として、その時代を過ごした方も多いの

ではないでしょうか。

「外から帰ったら手を洗いなさい」「生水は飲むな」。そんな言葉を、家族や学校から繰り返し聞いた記憶がある方もいるかもしれません。

そして半世紀後、私たちは新型コロナウイルスという別の感染症と向き合いました。赤痢と新型コロナウイルスでは、感染の仕方も予防の方法も異なります。それでも、正しい知識を持ちながら地域で感染を防ぎ、大切な人を守る姿勢は、時代を越えてどこか重なって見えます。「感染を広げたくない」「家族を守りたい」という思いは、今も昔も変わらなかつたのかもしれない。



check!  
赤痢とは  
どんな病気  
だったのか

赤痢は、細菌によって引き起こされる感染症で、発熱や腹痛、激しい下痢、血便などの症状を伴う病気です。特に子どもや高齢者では重症化することもあり、当時は集団感染への警戒が強く呼びかけられていました。現在では抗菌薬による治療法が確立されており、早期に適切な治療を行うことで重症化を防ぐことができます。

しかし、日本国内でも赤痢が完全に無くなったわけではありません。現在でも、海外渡航先などで感染し国内で確認されるケースが毎年報告されています。



冬の間お休みがちだったサロンや100歳体操が雪解けとともに再開される地区がある一方、農繁期を迎える春から夏にかけては隔週開催となる地区もあり、これらの活動にも地域ごとの暮らしに合わせた特色が感じられます。また、季節ごとの生活リズムが活動内容にも反映されているように感じます。

## 春とともに再開する 地域の輪



野頭サロンにお伺いし交流してきました

一々に築かれるものではなく、長い年月の中で育まれてきた地域の大切な財産であると思います。こうしたつながりを今後も大切に守っていきたいと感じています。



大堀地区集落支援員  
石山 薫

## 「緑の募金運動」ご協力大変ありがとうございました

おかげ様をもちまして、令和8年度は **316,381円** が集まりました  
森林環境教育や小学校・幼児教育施設での緑化活動に使わせていただきます

【ご協力いただきました皆様】 敬称略・順不同 募金運動へのご協力に、深く感謝申し上げます。

町内全集落、向町小学校、大堀小学校、結城工務店、(有)本郷自動車、(有)高橋産業、(株)最上テクノ、(株)最上振興、(有)佐々木商店、(株)結城林業、奥山電器店、佐藤電気管理事務所、サンホーム渡部建築、(株)押切鐵工所、(有)丸万管工務所、貢電設、(有)高木建設、(株)結城測量設計コンサルタント、(株)北山建設、建築結城、(株)最上町地域振興公社、(有)最上ケーエス、(株)小川建設、(株)MGM、(有)菅板金店、役場管理職会、地域住民の皆様



お問い合わせ先 農林振興課 43-2150

令和8年度緑の募金運動を4月1日から5月20日までの期間に実施しました。町内の皆様から事業の趣旨をご理解いただき、たくさん募金をいただきました。深く感謝申し上げます。

また、5月20日、向町小学校・大堀小学校の児童代表が役場を訪れ、今年度取り組んだ緑の募金運動の報告と、集めた募金を届けてくれました。集まった募金は、公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構に寄付し、全国各地の森林の保全活動や環境保護活動に役立てられます。

さらに、寄付金の半分は、公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構から最上町に交付され、町内の各小学校や幼児教育施設での緑化推進活動に活用されることになっております。皆様のご協力、誠にありがとうございました。